

学年通信「打たれよ熱き鉄人たち」第9号

平成31年(2019年)2月28日(木)発行

☆続・活躍する仲間たち☆

「チーム1ねん」一人の名誉はみんなの誇り。前回に引き続き活躍する仲間を紹介します。

1 文化財かるた ～本校から作品採用～

県教育委員会が、「かるた」の作成・活用を通して郷土愛を育むとともに郷土の文化財を自ら語り継承できる人づくりを目的として、広く文化財を題材とした「文化財かるた 絵札」を募集しました。48枚の札に対して1,249作品の応募があり、その激戦をくぐり抜け、「よ」の札「四方(よも)の石仏が並ぶ石塔寺」の絵柄に、本校美術部1組、谷口冴耶さんの作品(右に掲載)が選ばれました。他の作品共々3月1日から4月7日まで安土城考古博物館で展示(無料)されます。興味ある方は是非足をお運びください。



2 インドア大会結果 ～女子ソフトテニス部の活躍～

さる2月3日、長浜ドームで開催されたソフトテニス県高校選抜インドア大会において、3組、青木琴音さんが2年の米田さんと組んで、女子ダブルスで堂々5位に入る好成績を残しました。青木さんは、秋の新人戦シングルス準優勝に続く快挙で、今後の成長と活躍が大いに期待されます。

3 アンサンブルコンテスト結果 ～吹奏楽部の活躍～

さる1月20日、守山市民ホールで開催された第47回滋賀県アンサンブルコンテストにおいて、『失われた宮殿(嶋崎雄斗・作)』を演奏した本校は打楽器六重奏で見事金賞を受賞。6人のうち2組、龍山絢さん、3組、上田里紗さん、安田歩美さんの3人が1年生でした。また、2月2日、ひこね市文化プラザで開催された第14回中部日本個人・重奏コンテスト滋賀大会でも、打楽器六重奏が金賞を連続受賞。一方、『風の戯れII(八木澤教司・作)』を演奏した木管八重奏は銀賞を受賞しましたが、8人中ただ一人の1年生は6組、今野愛美さん。なお、個人の部では7組、和田帆夏さんがホルン独奏で『アイルランドにて(E・ボザ・作)』を演奏して銀賞に輝きました。吹奏楽部の仲間たちも着実に成果を挙げています。

本校吹奏楽部の今年度の予定は、3月21日(春分の日)に彦根城での「彦根梅と光のフェア」で演奏することになっています。さらに、ここで、音楽部も含めて定期演奏会のお知らせ。

吹奏楽部第14回定期演奏会

3月24日(日) 八日市文芸会館 昼の部 12:30 開場 13:30 開演
夜の部 17:00 開場 18:00 開演

音楽部第47回定期演奏会

3月30日(土) 八日市コミュニティーセンター 昼の部のみ 13:00 開場 13:30 開演

◎もうひとつの夏休みの始まり ～3月の過ごし方～

学年末考査が終わり、1年間の成績評価が確定する3月。成績票を手にするのは終業式ですが、それまでの3週間は、高校入試はじめ球技大会、身体計測、学びみらいPASS、その他特設LHRなど、授業以外の特別企画が大量に入ってきます。3月いっぱい基本的には午前で放課になるので、いわゆる教科の通常授業は12日の登校日に対して全部で14コマしかありません。つまり、3月は、春休みの2週間と合体すると、過ごしやすいこの季節に「もうひとつの

【3月行事予定】(1年生の総決算)		
日	曜	行事予定
3/1	金	卒業式
2	土	AM:第3回PTA役員会
3	日	
4	月	①～④考査答案返却
5	火	①～③考査答案返却 ④入試前日準備
6	水	一般選抜(生徒は自宅学習)
7	木	採点日(生徒は自宅学習)
8	金	以降、午前中授業 ②写真撮影
9	土	
10	日	
11	月	①～③学びみらいPASS
12	火	①～③学びみらいPASS ④生徒大会
13	水	
14	木	①進路説明会
15	金	①総合学習 午後:入学許可予定者サレエンション
16	土	
17	日	
18	月	球技大会(要弁当) 新2年教科書販売
19	火	球技大会(2日目)
20	水	②身体測定 ③LHR ④卒業生からのメッセージ
21	木	春分の日
22	金	大掃除・終業式・LHR

夏休み」が出現するのと同じことになるのです。

夏休み同様、各教科から課題が出されるとはいえ、自由に使える時間はたっぷりあるはず。この間、君たちが無目的に、徒に過ごすのなら、これほどもったいないことはないでしょう。時間は世界中の誰にも平等に与えられた財産だと言われます。せつかくもらっているのに無駄遣いはいけません。何も勉強だけやれなどとは言いません。部活動だけやっておればいいというものでもない。日頃やりたくても時間に追われて出来なかったこと、例えば読書や創作活動、興味関心を抱いた分野や未知なる世界への挑戦など、誰だって「時間があればやりたいこと」は常日頃から心のどこかに整理して置いているはず。それをやれるのが長期休業。あの夏休みと同じくらいの日数で、夏休みよりはるかにしのぎやすい気候で、成績評価という呪縛から解放されたゆとりある心の環境で迎えらる「もうひとつの夏休み」。この期間を、どうか有意義に過ごしてくれることを願います。自主性の鞭もて自らを打ち続けよ、熱き鉄人たち！

シリーズ「担任のこころ」6 きたむら てつじ 北村 哲士 1-5担任 数学 サッカー部顧問

先日、NHKの朝ドラ「まんぷく」をみました。チキンラーメンやカップヌードルで有名な日清食品の創業者、安藤百福(あんどうももふく)氏をモデルにしたドラマです。その回は、主人公の夫がチキンラーメンの開発を目指し、「試作→味見→まずい」の失敗を繰り返す場面がほとんどで、そのまま終わるのかと思えば、最後の1分で天ぷらを揚げているところから成功のヒントを得るといった内容でした。視聴者の中には話がなかなか進まず、イライラするという意見もあると聞きましたが、私はチキンラーメンを開発するまでの過程、特に失敗が丁寧に描かれ、面白いと思いました。

初めからすべてを理解し、失敗をしない人はいません。数学が得意な人はスラスラと問題を解いているようにみえますが、そのスラスラはたくさんの失敗を重ね長い時間をかけてその問題に取り組んだ成果です。初めは3割程度の理解でOK。とりあえず問題を解いてみる。失敗は当たり前。失敗を次にどういかすか、そしてそれを繰り返す根気強さと、繰り返す中で出会う小さな成功に感動する心が大切だと私は考えます。

もうすぐ2年生、勉強にも生活にもこのような姿勢を身につけ、将来につなげて欲しいと思います。失敗は当たり前。躊躇せず、まずチャレンジすることが大切です。

